

プラント状況確認結果(令和4年3月16日～令和4年3月22日)

令和4年3月23日
福島県原子力安全対策課

令和4年3月16日～令和4年3月22日までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

プラント状況(3月22日午前11時)

以下の項目について、実施計画*に定める制限を超える測定値はありません。

また、県の檜葉町駐在職員が福島第一原子力発電所中央操作室にてプラント状況を確認しています。確認結果はこちら([県HP](#))を御覧ください。

場所	目的	監視項目*	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量(m ³ /h)	3.3	1.6	1.7	—
		圧力容器 底部温度(°C)	13.9	21.6	20.2	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm ³)	7.49×10^{-4}	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)	0.00	0.10	0.14	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	20.9	20.2	— ^{※4}	—

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉及び使用済燃料プールに核燃料が入っていないため冷却等は必要ありません。

※3 作業に伴い原子炉注水量を変更しています。安全性に影響はありません。

※4 全燃料取り出し完了により、計測不要です。

(1) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月22日午前10時)

最小 0.336(MP-6)～最大 0.988(MP-4) μSv/h ⇒ [計測地点の地図](#)

(2) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月21日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約 0.57 Bq/L(6号機取水口前)

～最大 4.1 Bq/L(遮水壁前)

⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月21日採取分)

5、6号機放水口北側：検出限界値未満 ※検出限界値は約 0.70 Bq/L

南放水口付近：検出限界値未満 ※検出限界値は約 0.69 Bq/L

⇒ [計測地点の地図](#)

(4) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果

敷地境界に設置されている連続ダストモニタにより24時間連続で監視しております。測定結果はリアルタイムで公開されていますので、こちら([東京電力HP](#))を御覧ください。

(5) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(3月18日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約 5.2Bq/L (3号機)
～ 最大 9100 Bq/L (2号機)

トラブルの概要 (令和4年3月16日～令和4年3月22日)

この一週間におけるトラブル等について、東京電力から以下のとおり報告を受けました。

■ 3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震後の状況について

午後11時36分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード7.3)が発生しました。

(双葉町:震度6弱、大熊町:震度6弱、楢葉町:震度6弱、富岡町:震度6弱)
地震後の状況については添付をご確認ください。

■ 構内における火災報知機の作動について

3月16日、福島第一原子力発電所構内において、火災報知器が作動しました。
状況は以下の通りです。

- ・発生場所 事務本館(3月16日午後11時36分)
5号機タービン建屋2階(3カ所)(3月16日午後11時50分)
- ・双葉消防本部への連絡時刻 3月17日午前0時5分(一般回線)

当社社員による現場確認の結果、火や煙の発生等、異常がないことを確認しました。

3月17日午前2時7分、富岡消防署により事務本館および5号機タービン建屋2階3カ所の火災報知器の作動について「誤報」と判断されました。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) [\(3\)](#) ご覧ください。

■ 廃棄物処理建屋1階からの水の漏えいについて

3月18日午前0時05分頃、5号機 廃棄物処理建屋1階から水が漏えいしていることを当社社員が発見しました。

状況は以下のとおりです。

- ・発生場所(設備名称) 5号機 廃棄物処理建屋 1階および地下階
- ・漏えい場所 5号機 廃棄物処理建屋 1階天井部
- ・外部への影響 漏えいした水は建屋内に留まっている。
- ・漏えい範囲
1階 6m×4m×1mm
1階 12m×6m×1mm
地下階 15m×5m×1mm
- ・拡大防止処置 5号機 床サンプラインの移送停止

5号機床サンプラインの移送を停止したことで、午前2時40分に漏えい停止を確認しました。

なお、漏えいした水は5・6号機建屋滞留水であると判断しました。

今後、拭き取り作業を実施します。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) [\(3\)](#) ご覧ください。

■ サブドレン集水タンク No. 7 接続配管からの水の漏えいについて

3月20日午前7時22分頃、サブドレン集水タンク No. 7 接続配管から水が漏えいしていることを協力企業作業員が発見しました。

状況は以下のとおりです。

- ・発生場所（設備名称） サブドレン集水タンク No. 7
- ・漏えい箇所 接続配管
- ・漏えい範囲 堰内の深さ 30mm
- ・漏えい継続の有無 鉛筆1本程度で漏えいが継続

サブドレン集水タンク No. 1~7 の水位に異常な変動は確認されていない

- ・外部への影響 漏えいした水は堰内（高さ 200mm）に留まっている

漏えいの状況については、滴下程度に収まり、配管保温材から滴下している状況（1滴/5秒）ですが、滴下している水については養生を実施済みです。

漏えい箇所について、引き続き確認を実施します。

堰内の水についてトリチウムを分析した結果、検出限界値(77Bq/l)未満であることから、午後0時15分、雨水と判断いたしました。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) [\(3\)](#) ご覧ください。

■ 既設多核種除去設備建屋西側における移送配管の漏えい検知器の作動について

3月21日、午前11時2分頃、既設多核種除去設備建屋西側において、移送配管の漏えい検知器が作動していることを協力企業作業員が確認しました。

状況は以下のとおりです。

- ・発見時刻 午前11時2分頃
- ・発生場所 既設多核種除去設備建屋西側

なお、目視したところ、現場に水漏れがないことを確認しております。

配管は、RO濃縮水の移送配管であり、現場にて測定した結果、周辺450cpmに対して、検知器周辺が750cpmであることを確認しました。この結果から、現時点では雨水・結露水であると特定することが難しいと判断しました。

漏えい検知器外への漏えいは確認されておりませんが、念のため養生を実施しました。

今後、準備が整い次第、詳細な確認を行う予定です。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) ご覧ください。

■ 2号機タービン建屋西側にあるサブドレンピット No. 23 の採水容器における油らしきものの検出について

3月21日、午前11時39分、2号機タービン建屋西側にあるサブドレンピット No. 23 のサンプリングを実施した際、採水容器に油らしき物を確認したことから、当該サブドレンピットの油分分析を行ったところ、油分が9.8mg/l 検出されました。

なお、サブドレンサンプルタンクにおいては、排水前に分析を行い異常がないことを確認した上で排水を行っており、直近の排水時における油分分析結果は検出限界値未満（検出限界値0.3mg/l）であることを確認しております。

中継タンク No. 1 の油分分析をした結果、検出限界値未満（検出限界値0.3mg/l）であることを確認しました。

この結果、No. 23~No. 27 を除く中継タンク No. 1 系統の汲み上げを、午後2時36分再開しました。

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) ご覧ください。

■ 福島第一原子力発電所における体調不良者の発生について

3月22日午前11時40分頃、5号機タービン建屋南側付近において協力企業作業員の方に体調不良者が発生しました。

入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後0時26分、救急車を要請しました。

状況は以下のとおりです。

- ・身体汚染の有無 なし
- ・発生状況 作業中に肺の痛みを訴えた。
意識はあり、多少の会話は可能な状態。

当該体調不良者は、救急車でふたば医療センター附属病院へ到着しました。

- ・救急医療室退出時刻 午後0時49分
- ・救急車出発時刻 午後0時51分
- ・救急車到着時刻 午後1時05分

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) ご覧ください。

*** 実施計画及び監視項目に関する解説**

○実施計画

正式名称は「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画」。東京電力の廃炉の取組（設備設置含む）について、原子力規制庁が安全性の審査を行い認可したもので、事業者の安全上守るべき基準値等が示されています。

○注水量及び圧力容器底部温度

1～3号機の原子炉格納容器内に存在する溶け落ちた燃料（燃料デブリ）を冷却するため、継続的な注水を行っています。実施計画では原子炉圧力容器の底部温度を80℃以下で管理することを定めています。

○キセノン 135 濃度

キセノン 135 はウランが核分裂する過程で生じる放射性物質であり、量によってどの程度核分裂が起きているか推定することができます。実施計画では1 Bq/cm³以下であることが定められています。

○窒素充填及び水素濃度

水素爆発防止を目的に、原子炉内の水素濃度を測定し、実施計画に定める制限値（2.5%）よりも低いことを確認しています。1～3号機では、原子炉格納容器に窒素を注入することにより水素や酸素の濃度を下げています。

○水温

使用済燃料プールの水を循環冷却することにより、プール水温を管理しています。なお、実施計画では60℃（1号機）または65℃（2、3号機）以下で管理することが定められています。

（お問い合わせ 024-521-7255）

地震発生後の福島第一原子力発電所の状況

日付	公表内容
3月16日	<p>午後 11 時 36 分頃、福島県沖を震源とする地震（マグニチュード 7.3）が発生しました。</p> <p>（双葉町：震度 6 弱、大熊町：震度 6 弱、楡葉町：震度 6 弱、富岡町：震度 6 弱）</p> <p>福島第一原子力発電所については、現在のところ、異常はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のところ、地震による主要設備の異常、モニタリングポストの指示値やダストモニタの指示値の有意な変動は確認されておりません。 <p>福島第二原子力発電所については、現在のところ、モニタリングポスト指示値の有意な変動は確認されておりません。</p> <p>なお、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所において観測された地震計の数値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 <ul style="list-style-type: none"> 水平：221.3 ガル（6 号機） 垂直：202 ガル（6 号機） ・福島第二原子力発電所 <ul style="list-style-type: none"> 水平：161.3 ガル（1 号機） 垂直：137.8 ガル（1 号機）
3月17日	<p>福島第一原子力発電所の続報は以下の通りです。</p> <p><3月17日午前0時50分現在></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～6号機設備プラントパラメータ 異常なし ・原子炉注水設備（1～3号機） 異常なし ・使用済燃料プール冷却設備（1～6号機、共用プール） 異常なし ・3月17日午前0時11分、2号機 SFP スキマサージタンクの水位低下を確認しましたが、手動停止操作し、水位低下は停止しました。 ・3月17日午前0時18分、水処理設備の運転を停止しました。パラメータに異常はありません。 <p><3月17日午前1時現在></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングポスト指示値 有意な変動なし ・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有意な変動なし

<ul style="list-style-type: none">• 構内線量表示器指示値 有意な変動なし• 構内排水路モニタ指示値（物揚場以外） 有意な変動なし• 海水放射線モニタ指示値 有意な変動なし• 構内排水路モニタ指示値（物揚場）については、地震前の 60Bq/L から 230Bq/L に上昇を確認しました。（高警報値：1,500Bq/L）• 構内連続モニタについては以下の通りです。<ul style="list-style-type: none">1/2号西側法面 1.47×10^{-5} Bq/cm³（高警報値：5×10^{-5} Bq/cm³）1号海側（2.5m 盤）1.11×10^{-5} Bq/cm³（高警報値：5×10^{-5} Bq/cm³）3号海側（2.5m 盤）1.55×10^{-5} Bq/cm³（高警報値：5×10^{-5} Bq/cm³）• 3月17日午前1時、ALPS処理水タンク水位指示に異常がないことを確認しました。• 3月17日午前1時5分、1～4号機、5・6号機、共用プール水位に異常がないことを確認しました。• 3月17日午前1時19分、当社社員による高台パトロールを開始しました。 <p>福島第二原子力発電所の続報は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">• この地震によるケガ人の発生はありません。• 3月16日午後11時36分、福島県沿岸部に津波注意報発表。<ul style="list-style-type: none">午後11時41分に津波注意報発表に伴う発電所敷地高さ12m以上への避難を指示。• 3月17日午前1時20分、地震後のパトロール開始を指示。<ul style="list-style-type: none">なお、津波注意報が福島県沿岸部に発表されていることから屋外は敷地高さ12m以上のパトロールを許可。建屋内は地下階のパトロールを許可。• 3月16日午後11時36分、1～4号機使用済燃料プール水位高または低警報発生し、同時刻に消灯。現在警報発生原因調査中。• 3月16日午後11時37分、500kV富岡線2号自動停止。現在自動停止原因調査中。• 3月16日午後11時39分、1,3号機使用済燃料プール冷却ポンプ自動停止。現在自動停止原因調査中。• 3月17日午前0時22分、3号機使用済燃料プール冷却を再開。冷却再開時の温度27.6℃。停止による温度上昇はありません。
--

	<ul style="list-style-type: none"> • 3月17日午前1時29分、500kV 富岡線2号の停電は新福島変電所側での設備トラブルによるものと判明。修理が難しい状況であることから500kV 富岡線2号は停止操作します。 • 3月17日午前1時43分、1号機使用済燃料プール冷却を再開。再開時のプール水温度27.5℃。停止による温度上昇はありません。
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。 福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p><3月17日午前2時現在></p> <ul style="list-style-type: none"> 1～6号機設備プラントパラメータ 異常なし 原子炉注水設備（1～3号機） 異常なし 使用済燃料プール冷却設備（1～6号機、共用プール） 異常なし <ul style="list-style-type: none"> • 3月17日午前1時頃より2号機原子炉建屋の構内連続ダストモニタの低下傾向を確認しました。 3.7×10^{-3} Bq/cm³（高警報値：1×10^{-3} Bq/cm³） • 3月17日午前1時現在の構内連続ダストモニタ1/2号機法面、1号海側、3号海側の数値に対して低下傾向を確認しました。その他構内連続ダストモニタは、有意な変動はありません。 • 3月17日午前1時30分、構内排水路モニタ指示値（物揚場）の低下傾向を確認しました。 • 5号機使用済燃料プール冷却設備は地震に伴い自動停止していることを確認しました。 • 現在、冷却が停止している2号機および5号機使用済燃料プール冷却設備のプール水温度評価については、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> （2号機）運転上の制限である65℃に到達しない。 （5号機）運転上の制限である65℃に到達する時間は、約11日程度。 • ろ過水純水装置の汚泥装置油圧ポンプより、数分に1滴程度の油滴下を確認し、弁閉止操作により油の滴下停止を確認しました。 <ul style="list-style-type: none"> （漏えい量 50cm×50cm×1mm） • 5号機および6号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおいて、水溜まりがあることを確認しました。水溜まりは地震による使用済プール水の揺れにより同プールから溢水したものと推定しております。 <ul style="list-style-type: none"> （発生場所）6号機原子炉建屋オペレーティングフロア 4箇所

(発見時刻) 午前 2 時 20 分頃

(漏えい範囲) 南西 0.3m×0.5m×1mm

南東 0.2m×0.2m×1mm

北東 0.2m×0.2m×1mm

北西 0.2m×0.2m×1mm

(発生場所) 5号機原子炉建屋オペレーティングフロア 4箇所

(発見時刻) 午前 2 時 35 分頃

(漏えい範囲) 南西 5.0m×5.0m×1mm

南東 1.0m×0.5m×1mm

北東 1.0m×0.5m×1mm

北西 1.0m×0.5m×1mm

なお、5,6号連続ダストモニタに有意な変動はありません。

・3月17日午前2時45分に6号機タービン補機冷却系(純水)サージタンクの水位低下(55mm/h)を確認しました。詳細については現在確認中です。

・なお、現時点においてその他漏えい等の異常は確認されておられません。

・3月17日午前2時45分、既設淡水化装置にウルトラフィルタ洗浄水槽の底部固定ボルトより、鉛筆2本分程度の太さの漏えいを確認しました。水槽の隔離を実施し、漏えいは堰内に留まっていることを確認しております。

漏えい範囲 6m×6m×1m(漏えいした水は淡水化处理した後の淡水)

・3月17日午前2時50分、高台タンクパトロールにおいてJ5タンクおよびG6タンクエリアにて、堰の塗装のめくれを確認しました。なお、当該タンクエリアの周囲に漏えい等は確認されておられません。

・3月17日午前3時、ストロンチウム処理水タンク(H8-A3)の位置ずれを確認しました。なお、連結配管からの漏えい等は確認されておらず、タンクの水位に有意な変動も確認されておられません。

福島第二原子力発電所の状況は以下の通りです。

<地震後のパトロールの実施状況>

・3月17日午前2時15分、4号機使用済燃料プールから溢水防止フェンスを越えた溢水を確認。溢水した量は約

	<p>0.0003 リットル。なお、1～3号機は使用済燃料プールからの溢水や漏えいなしを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月17日午前2時19分、1号機原子炉建屋南西コーナードローアウトパネル1箇所にコブシー個程度開いていることを確認。なお、建屋の負圧は維持されており外気への放射線物質の流出はないことを確認できています。 ・3月17日午前2時42分、富岡消防車から消防署1台正門へ到着（サイレン鳴動） ・3月17日午前2時57分、構内で発生した火報は全て誤報であることを富岡消防署員により確認 ・3月17日午前3時1分、消防車退構 ・排気筒モニタ、モニタリングポストの指示値に有意な変化はありません
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>プラントパラメータおよびモニタリングポスト指示値等に有意な変動はありません。</p> <p>津波および潮位の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1-4号機取水口開渠に設置している潮位計において、本日（3月17日）午前1時33分に津波高さは最大20cmを確認しました。 <p>格納容器の水位および圧力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点において有意な変動は確認されていません。 ・引き続き、傾向監視を継続してまいります。 ・なお詳細な確認には数時間程度要するため、改めてお知らせいたします。 <p>タンクの位置ずれについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波注意報が発令されていたことを踏まえ、タンクエリアパトロールは高台（33.5m盤）を先行実施しています。 ・現時点において、H8タンクエリアのA3タンクに位置ずれが確認されていますが、連結配管等からの漏えい、およびタンク水位に有意な変動は確認されていません。 ・また、J5、G6タンクエリアにおいて、堰の塗装にめくれが確認されていますが、漏えいは確認されていません。 ・なお、安全を考慮し、明るくなってから、タンク位置ずれの本格的な現場確認を実施いたします。 <p>コンテナの転倒について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を考慮し、明るくなってから現場確認を実施いたします。

地震計について

- ・3号機原子炉建屋1階、5階、およびタンクエリア4箇所に設置している地震計において、地震データが取れていることを確認いたしました。
- ・今後、地震データを評価してまいります。

陸側遮水壁について

- ・陸側遮水壁の冷媒を供給するポンプにおいて、過電流を検知し、ポンプが自動停止しました。
 - ・測温管等の温度の状況について、有意な温度上昇は確認されていません。
- なお、温度指示不良と思われる変動が3箇所確認されましたが、今後詳細を確認いたします。

現在実施しているパトロールの状況について

- ・上部からの落下物等に留意しながら、安全を最優先に進めています。
- ・水漏れ等の異常を確認した場合は速やかにお知らせいたします。

タンクの水位計について

- ・ALPS処理水等タンクの一部の水位計にRL（水位計測範囲）逸脱が確認されていましたが、本日（3月17日）午前4時31分に漏えい等の異常がないことを確認しました。

今後、海側の設備を含めて、安全を最優先にパトロールを進めてまいります。

なお、2号機の使用済燃料プール冷却設備については、準備ができ次第運転を再開いたします。

昨日（3月16日）午後11時37分、陸側遮水壁設備について、供給ポンプの過電流検知により自動停止していることを確認しました。なお、温度については現在確認中です。

本日（3月17日）午前4時8分、5号機の使用済燃料プール冷却設備については、運転を再開しました。

本日（3月17日）午前4時10分、ろ過水設備の西側にある雨水を保管しているノッチタンクより指3本分程度の太さの漏えいを確認しました。

本日（3月17日）午前3時39分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報2）」について、追加情報がありましたので、お知らせいたします。

- ・2号機使用済燃料プール冷却設備については、スキマサージタンクの水位低下が確認されたことから隔離のため、手動停止し、その後、水位低下は停止しました。
- ・3号機使用済燃料プール冷却設備については、運用停止中で、異常なし

	<ul style="list-style-type: none"> • 5号機使用済燃料プール冷却設備については、自動停止 • 6号機使用済燃料プール冷却設備については、確認中 <p>本日（3月17日）午前6時13分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報）」について、使用済燃料プール冷却設備に誤りがございましたので訂正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> •（誤） 使用済燃料プール冷却設備（1～6号機、共用プール） 異常なし •（正） 使用済燃料プール冷却設備（1、4、6号機、共用プール） 異常なし <p>本日（3月17日）午前6時13分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報2）」について、プラント状況について誤りがございましたので訂正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> •（誤） 2号機使用済燃料プール冷却設備 停止中 •（正） 2号機使用済燃料プール冷却設備 停止 <p>本日（3月17日）午前6時13分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報2）」について、追加情報がありましたので、お知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 6号機使用済燃料プール冷却設備については、本日（3月17日）2時00分に運転継続している事を確認しました。
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>運用補助共用施設（共用プール建屋）において、水溜まりがあることを確認しました。水溜まりは地震による使用済燃料プール水の揺れにより同プールから溢水したものと推定しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発生場所・漏えい範囲 共用プール北東、南西レール付近 <ul style="list-style-type: none"> 0.3m×3.0m×1mm 北側真空乾燥装置冷却ユニット東 1.0m×1.0m×1mm <p>5号機原子炉建屋空調設備については、空調隔離弁が全閉し、自動停止していることを3月17日午前4時55分に確認しました。</p> <p>なお、モニタ指示値に有意な変動は確認されていません。</p> <p>1号機原子炉格納容器圧力について、一度上昇し、低下していることを3月17日午前5時48分に確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地震発生前（3月16日午後10時30分）：0.13kPa

• 地震発生後（3月16日午後11時37分）：0.28kPa

• その後（3月17日午前5時37分）：0.00kPa

なお、1号機原子炉建屋連続ダストモニタについては、午前5時59分に有意な変動がないことを確認しています。
福島第二原子力発電所の状況は以下の通りです。

津波による発電所設備への影響は確認されておりません。

• 観測された津波高さ：約0.2メートル

• 観測時刻：3月17日午前1時33分

福島県沿岸部に発表されていた津波注意報を受け屋外敷地高さ12m未満の地震後のパトロールは実施していませんでしたが、津波注意報が解除されたことから3月17日午前5時02分に開始を指示しました。

地震後のパトロール状況について

• 4号機使用済燃料プールから溢水した水の放射能濃度は検出限界値未満であることを3月17日午前3時26分に確認しました。

• 1号機原子炉建屋南西コーナーのブローアウトパネルは、押え板の変形によりコブシ1個程度の隙間ができていたことを3月17日午前3時29分に確認しました。

今後、隙間拡大防止対策を実施します。

地震後の全てのパトロールについて3月17日午前6時42分に終了しました。

今回の地震で確認された設備トラブルは以下のとおりです。

• 500KV富岡線2号は新福島変電所側の設備トラブルにより停止しました。

• 1号機原子炉建屋南西コーナーのブローアウトパネルはコブシ1個分の隙間を確認しました。外気への放射性物質の放出はないことを確認しています。

また、建屋内の放射能濃度は検出限界値未満であることを確認しました。

隙間が拡大しないようチェーンによる固定を実施しました。

• 4号機の使用済燃料プールから溢水防止フェンスを越えた溢水を確認しました。

溢水した水の放射能濃度は検出限界値未満であることを確認しました。

• 1、3号機使用済燃料プールの冷却が自動停止しました。

使用済燃料プール冷却は再開し、現在は使用済燃料の低温冷却を継続しています。

	<p>地震後のパトロールの結果、使用済燃料の低温冷却は維持できており、確認された設備トラブルによる発電所運営への影響はないと判断できたことから、原子力警戒態勢を3月17日午前7時03分に解除しました。</p>
<p>3月17日</p>	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>3月17日午前4時30分頃、区分Ⅲパトロールにて淡水化装置（RO-2）亜硫酸ソーダタンクがスロッシングによる漏えいを確認しました。漏えいは堰内に留まっていることを確認しました。</p> <p>なお、漏えい範囲は、1m×1m×1mmです。</p> <p>3月17日午前5時頃、設置工事中原水ろ過水純水汚泥増設排水設備の処理水タンクに亀裂があり、内部のろ過水が漏えいしていることを確認しました。</p> <p>なお、同設備は試運用中であり、放射性物質の漏えいはありません。</p> <p>3月17日午前5時13分、区分Ⅲパトロールにて以下を確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高性能ALPSサンプルタンク（A、C）の位置ずれ ・増設ALPSサンプルタンク（A、C）の位置ずれ <p>なお、漏えい等は確認されておりません。</p> <p>運用補助共用施設（共用プール建屋）において午前6時25分に排気放射線モニタのサンプルポンプが停止していることを確認しました。</p> <p>準備がいき次第、運転再開いたします。</p> <p>3月17日午前6時25分に6号機タービン補機冷却系の海水ポンプ（A）冷却水の入口弁下流から漏えいしていることを確認しました。</p> <p>3月17日午前6時29分に海水ポンプを（A）から（B）へ切り替え、海水ポンプ（A）の冷却水の隔離を行い、タービン補機冷却系サージタンクの水位低下の停止を確認しました。</p> <p>なお、冷却水は純水であり、放射性物質の漏えいはありません。</p> <p>3月17日午前6時30分現在、モニタリングポスト、周辺監視境界連続ダストモニタ、構内連続ダストモニタに有意な変動はありません。</p> <p>なお、2号原子炉建屋1階の連続ダストモニタについては、午前4時39分に高警報がクリアし、その後も低下傾向を確認しています。</p>

1号機原子炉格納容器圧力については、0.00kPaに到達後、変化がないことを確認しました。

2号機原子炉格納容器圧力については、以下の通りです。

地震発生前（3月16日午後11時30分）：3.15kPa

地震発生後（3月17日午前2時26分）：3.22kPa

その後（3月17日午前6時50分）：3.07kPa

3号機原子炉格納容器圧力について0.45kPaで変化がないことを確認しました。

3月17日午前6時29分4号原子炉建屋カバー建屋内に梁のような鉄骨が落下していることを確認しました。

3月17日午前7時38分2号機使用済燃料プール冷却設備の運転を再開しました。

現場確認後、異常がないことを確認しました。

3月17日午前8時現在の状況をお知らせ致します。

下記4件の漏えいの報告がない設備について、漏えい等の異常がないことを確認しました。

- ・滞留水移送設備
- ・セシウム吸着装置等
- ・淡水化装置等
- ・多核種除去設備等

下記3件の設備について漏えい等の異常がないことを確認しました。

- ・サブドレン他浄化設備
- ・陸側遮水壁設備
- ・地下水バイパス設備

なお、各設備の停止状態に異常がないことおよび火災がないことを確認しております。

1～3号CST路注設備、共用FPC設備、使用済燃料プール二次系設備、電源設備のパトロールが完了しております。

モニタリングポスト、周辺監視境界連続ダストモニタ、構内連続ダストモニタに有意な変動はありません。

排水路モニタの内、物揚場PSFモニタが低下後、変化がないこと、その他有意な変動がないこと確認しました。

また、1号機原子炉建屋1階連続ダストモニタが $5.7 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ で上昇中であること、2号機原子炉建屋1階連続ダストモニタは低下傾向であることを確認しております。その他の建屋内モニタは変動がないことまたは低下傾向であることを確認しております。

	<p>5,6号機原子炉建屋、タービン建屋、廃棄物処理建屋、雑固体廃棄物焼却建屋について、漏えい等の異常がないことを確認しました。</p>
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>現在、「区分Ⅲ」パトロールを継続実施しております。</p> <p>(以下、3月17日午前9時までの確認状況)</p> <p>発電所構内の一時保管エリアaに保管中のコンテナ6基が転倒し内容物が出ていることを確認しました。転倒したコンテナのうち、5基が使用済保護衣、1基は鉄くずが保管されており、内容物の線量測定をした結果、バックグラウンド相当であることを確認しております。</p> <p>構内道路の一部にアスファルトの亀裂が確認されましたが、通行に支障はありません。</p> <p>サブドレン集水タンクNO.1の防水塗装に剥がれが確認されましたが、タンク機能に影響はありません。</p> <p>タンク水位計指示値不良38台のうち27台は、初期化により復旧しております。</p> <p>残り11台については、予備品を使用して復旧する予定です。</p> <p>(以下、3月17日午前10時までの確認状況)</p> <p>3月17日午前9時10分、5号機原子炉建屋5階から4階の階段踊り場に水たまりがあることを発見しました。水の滴下は止まっております。</p> <p>発電所構内の複数のタンクエリアにおいて、多数の汚染水タンクが滑動していることおよび堰内の防水塗装に破損があることを確認しました。</p> <p>現在、詳細な基数について確認中です。</p> <p>なお、タンクは基礎固定せず滑動する設計となっております。</p> <p>1号機原子炉建屋内連続ダストモニタの指示値上昇の確認について、その後、上昇前のレベルまで低下したことを確認しました。</p> <p>物揚場PSFモニタ上昇について、サンプリングの結果、排水路本流とモニタ集水槽の全ベータの値に差がないことから、モニタ検出器自体が汚染されたものと判断いたしました。</p> <p>3月17日午前10時、5号機原子炉建屋において、放射性液体漏えい警報が発生しました。今後、現場確認を実施する予定です。</p>

	<p>(以下、3月17日午前11時までの確認状況)</p> <p>5号機 原子炉建屋で発生した漏えい検知警報について、現場確認の結果、残留熱除去海水系の配管貫通部より、指4本程度の太さで室内に流入していることを確認しました。</p> <p>Fエリアのタンク6基について、フランジ部より2秒に1滴の滴下していることを確認しました。なお、滴下した水については堰内に留まっております。</p> <p>雨水モバイル受入タンク(A)の受入配管から連続的に滴下していることを確認しました。</p> <p>雨水処理設備RO膜ユニット(A)A-1入口配管付近より1滴/分の滴下を確認しました。なお、滴下した水については堰内に留まっております。</p> <p>また当該設備については現在停止中であり、今後、当該部の養生を実施する予定です。</p> <p>滞留水移送設備等については準備が整い次第復旧を開始いたします。</p>
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>現在、「区分Ⅲ」パトロールを継続実施しております。</p> <p>3月17日午後12時までの状況をお知らせ致します。</p> <p>5号機原子炉建屋階段踊り場における水たまりについて現場確認をした結果、3階、4階、および4階から5階の階段室踊り場に水たまりを確認しました。</p> <p>水たまりについては、燃料プール水の揺れにより同プールから溢水した水が水面近傍の空調ダクトに流入し、つなぎ目部より滴下したものと推定しています。</p> <p>現在、滴下は停止しており、水たまりについては拭き取りを実施しました。</p> <p>H2エリアタンクC3-D3タンク間の連結管において、連結管付根部の下部に水たまりを確認しました。現在、付根部からの滴下はなく、堰内に留まっております。</p> <p>下記の漏えい箇所について漏えいが停止したことを確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原水ろ過水純水汚泥増設排水設備の処理水タンクからのろ過水漏えい ・既設淡水化装置のウルトラフィルタ洗浄水槽からの淡水化処理水漏えい <p>タンク水位計指示不良については更に1台が復旧し、38台中28台が復旧完了しております。残り10台については予備品を使用して復旧する予定です。</p>

	<p>5・6号機ゲートから海拔2.5mエリアの海側に向かう道路で陥没が確認され、当該箇所の通行が不可となっております。</p> <p>本日（3月17日）午前3時39分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報）」について発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値に誤りがございましたので訂正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（誤）発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有位な変動なし ・（正）発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 下記の通り
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>3月17日午後1時30分までの状況をお知らせいたします。</p> <p>区分Ⅲパトロールが完了しました。パトロールにおいて確認された水漏れ等の不具合に対しては、対策を講じてまいります。</p> <p>なお、引き続き定例のパトロールにおいても現場設備の状況を注視してまいります。</p> <p>滞留水移送設備の滞留水移送ポンプ全台の起動を完了し、起動後の健全性が確保されていることを確認しました。</p> <p>Fタンクエリアのタンク6基について、滴下箇所の養生が完了しました。（11カ所）</p>
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>3月17日午後2時30分までの状況をお知らせいたします。</p> <p>運転員の定例パトロールにおいて3号機廃棄物処理設備建屋1階において、以下の配管貫通部から水の流入を確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料プール設備1次系ろ過脱塩器（B）の入口配管貫通部（鉛筆1本分の太さ） ・同系出口配管貫通部（1秒間に5～6滴） <p>流入した水は堰内に留まっております。</p> <p>H2エリア堰内C3-D3タンク連結管付け根下部の水たまりについて、分析結果より雨水と判断しました。</p> <p>5号機原子炉建屋オペレーションフロアにおいて、燃料プール水の揺れにより溢水した水の拭き取りが完了しました。</p> <p>6号機原子炉建屋オペレーションフロアにおいて、燃料プール水の揺れにより溢水した水の拭き取りが完了しました。</p> <p>港湾にある設備の点検結果については以下の通り</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • 1-4号護岸エリア、5-6号護岸エリアのフェーシング等にひび割れを確認しました。 • メガフロート北側護岸ブロックにずれがあることを確認しました。 • その他護岸周辺設備に異常は確認されておりません。 <p>一時保管エリア（f）で地震発生以前に破損が確認されていたコンテナについて、今回の地震で破損状況の拡大を確認しました。当該コンテナの内容物は使用済保護衣であり、内容物の線量はバックグラウンドと同等であることを確認しております。</p> <p>一時保管エリア（N）において屋根の一部が破損していることを確認しました。</p> <p>本日（3月17日）午前6時13分にお知らせした「2022年3月16日地震情報（福島第一・福島第二原子力発電所関連）（続報2）」と午前8時1分にお知らせした（続報3）について2号機使用済燃料プール冷却設備の手動停止時刻に関する記載に誤りがございましたので訂正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 続報2の以下の文章を削除 <p>3月17日午前0時11分、2号機SFPスキマサージタンクの水位低下を確認しましたが、手動停止操作し、水位低下は停止しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 続報3の文章に「3月16日午後11時59分」を追記 <p>（追記後）• 2号機使用済燃料プール冷却設備については、スキマサージタンクの水位低下が確認されたことから隔離のため、3月16日午後11時59分、手動停止し、その後、水位低下は停止しました。</p> <p>3月17日午後4時までの状況をお知らせいたします。</p> <p>一時保管エリアaで転倒していたコンテナ6基の内容物について詳細確認を実施したところ、4基が使用済保護衣、2基が鉄くずであることを確認しました。</p> <p>なお、転倒したコンテナについては、積み直しが完了しております。</p> <p>5号機原子炉建屋で発生した残留熱除去海水系配管貫通部からの流入について、分析の結果、5号機タービン建屋滞留水が流入したものと判断したことから、同建屋へ仮設ポンプにて移送を開始いたしました。</p> <p>ろ過水設備の西側にある雨水を保管しているノッチタンクから漏えいした水の分析結果より雨水と判断しました。</p> <p>陸側遮水壁設備について、自動停止していた設備の復旧が完了しました。</p> <p>一時保管エリア（N）について、詳細に確認を実施したところ屋根は破損していないことを確認しました。</p>
3月17日	2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。

	<p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>3月17日午後6時30分までの状況をお知らせいたします。</p> <p>一時保管エリアbについて、区分Ⅲパトロール後の詳細確認の結果、保管中のコンテナ数基が転倒し内容物が出ていることを確認しました。</p> <p>また、傾いているコンテナが数基あることを確認しました。</p> <p>なお、内容物の線量測定をした結果、バックグラウンド相当であることを確認しております。今後、準備が整い次第復旧を開始いたします。</p> <p>サブドレン他浄化設備について、復旧が完了しました。</p> <p>運用補助共用施設（共用プール建屋）において、燃料プール水の揺れにより溢水した水の拭き取りが完了しました。</p>
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>警戒事態該当事象（所在町で震度6弱以上の地震発生）における地震後パトロールの結果、午後7時15分、確認された設備トラブルが発電所運営に影響を及ぼすことがないと判断しました。</p> <p>よって、これより通常の監視態勢へ移行します</p>
3月17日	<p>2022年3月16日午後11時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震に関する続報です。</p> <p>福島第一原子力発電所の状況は以下の通りです。</p> <p>3月17日午後8時30分までの状況をお知らせいたします。</p> <p>3号機 廃棄物処理設備建屋1階の配管貫通部からの水の流入について、ろ過脱塩器（B）室を確認したところ、内部に水たまりを確認しました。</p> <p>燃料プールの水揺れによりスキマサージタンクへ流入した水が配管から流出したものと判断しています。</p> <p>5号機 原子炉建屋で発生した残留熱除去海水系配管貫通部からの流入箇所の応急的な止水処理の結果、指4本程度の太さから、3秒に1滴程度まで減少したことを確認しました。</p> <p>3月17日午後9時30分までの状況をお知らせいたします。</p> <p>タンク水位計の指示不良については、水位計10台の復旧が完了し、38台全数の復旧が完了しました。</p> <p>復旧した水位計の他、全ての水位計の指示について異常のないことを確認しました。</p>